

サロプト

第64回全道へき地複式教育研究大会宗谷プレ大会猿払分科会日より

第1分科会 猿払村立浜鬼志別小学校

「自ら学び、基礎・基本を身につける子どもの育成」
～わかる・できる を実感させる授業づくりを通して～



事務局：浜鬼志別小学校
01635-2-3253 2-3285
2014. 10. 3 No. 4

石研究協議
5・6年生 杉本先生

【お話しから】

- ・南の指導は、姿勢作り？
 - ・常識は本当に常識？
- あの掲示物はもしもしたら学びの助けにはならない？

公開授業Ⅱ
杉本 旬 先生
国語 5・6年

学習の手順を明示し、子どもたちがゴールに向かって活発に活動する姿が印象的でした。

会場準備

互いに激励し合う研究大会前の職員室。成功する予感が漂っていました。

学校研究発表

ワークショップ型の校内研修を行い、子どもたちのよりよい学習環境づくりに向けて協同している。



「浜スタ」を定着させられるよう全職員で取り組んでいる。

公開授業Ⅰ
高橋哲雄 先生
国語 4年

黒板に貼ったホワイトボードを囲んで、子どもたちと教師が要約文の吟味する姿が印象的でした。

石研究協議
4年生 高橋先生

【お話しから】

- ・要約文のおおまかな活動は、個人orペアorグループ？
どっちが向いているんだろうか。
- ・本時の中で 言葉彙を増やすチャンスはわかって
- ・「大事なところを見つけよう」よりも「余計なところを全部消す」の方が取り組ませやすいと思う。

開会式

北海道へき地・複式教育研究連盟推進委員
五十嵐重信 様から、ご挨拶をいただき、
研究大会がスタートしました。



【会場校謝辞 猿払村立浜鬼志別小学校校長 米谷重見】



遠くは渡島管内をはじめ他管内からも、多くの皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。

本校では、学校研究の発表と二つの授業を公開しました。研究協議では、「複式授業の進め方」「ペア学習の工夫」等について。また、国語の授業づくりに関わって、「説明文の読解」。特に「要約文を書く際のキーワードの見つけ方」等、参加された皆様から多くのご助言・ご示唆をいただきました。これらの貴重なご助言・ご示唆をもとに、今後も学校研究を積み重ね、「子どもの変容を図り学力向上につながる授業改善のあり方」を追究してまいります。

次年度は宗谷本大会です。大会研究主題の実践と検証の場とするとともに、宗谷管内、全道の仲間とともに学び合う有意義な機会となるよう、今年度以上に準備を整えます。